日本経済展望

2013年1月

調査部 マクロ経済研究センター

http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan

目次

- ◆現状・・・・・・・p. 1
- **◆**景気分析・・・・・・p. 5
- ◆見通し・・・・・・p. 11
- ◆金利動向・・・・・ p. 12
- ◆内外市場データ・・・ p. 14

調査部 マクロ経済研究センター(国内経済グループ)

- ◆ファンダメンタルズ担当 ◆金利動向、内外市場データ担当 下田 裕介 (Tel: 03-6833-0914 Mail: shimoda.yusuke@jri.co.jp)
- 塚田 雄太 (Tel: 03-6833-6719 Mail: tsukada.yuta@jri.co.jp)
 - ◆本資料は2013年1月4日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

気分析

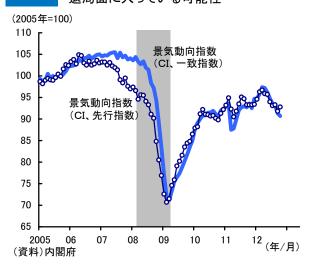
見通し

金利動向

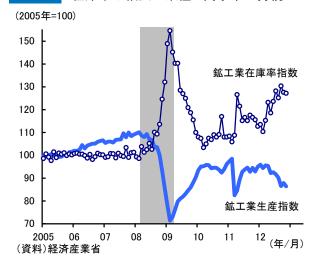
景気

出荷や商業販売の低迷により、景気は後 退局面に入っている可能性

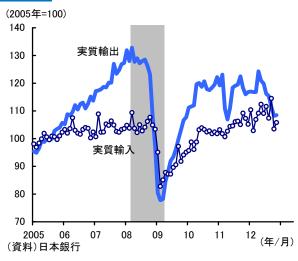
概況:2012年4月から景気は後退局面に



企業 生産は再び減少し震災直後の低水準 在庫率は幅広い業種で高水準が持続



外需 輸出は欧米、中国などを中心に減少 輸入は増加基調が一服

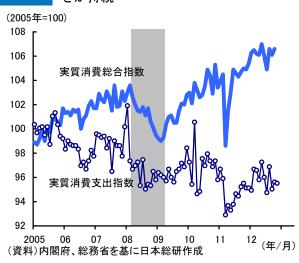


雇用 所得

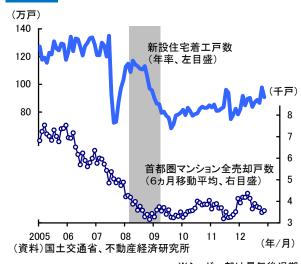
失業率は緩やかに改善 給与は所定外給与や特別給与が減少



消費 消費マインドの低迷などを背景に、弱い動きが持続



住宅 住宅着工は総じて緩やかに増加マンション販売は減少基調



※シャドー部は景気後退期

金利動向

日本総研

鉱工業生産に底入れの兆しも

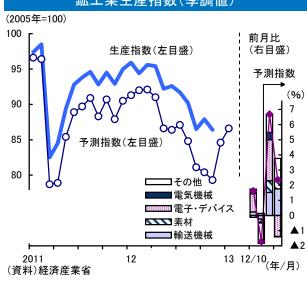
わが国経済は足許で大幅に悪化。 景気判断に用いられる景気動向指数 (CI一致指数)は2012年3月をピー クに低下し、景気は同時期以降後退 局面に入っている可能性大。財別の 鉱工業出荷をみると、国内向け最終 需要財、輸出向けがいずれも大幅に 減少しており、内外需全般にわたに てわが国景気への下押し圧力が続い ている状況。

外需では、実質輸出が欧州や中国 向けの落ち込みを主因に7ヵ月連続 で減少。一方、米国向けは、電子・ デバイス、通信機械や輸送機械など で持ち直し。



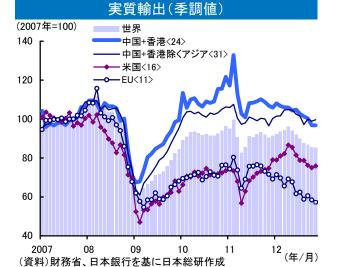


鉱工業生産指数(季調値)



出荷・在庫バランス





(注) <>は2011年度のシェア。

内需では、エコカー補助金終了に 伴う自動車販売の反動減は一巡。 もっとも、四半期でみると2012年10 ~12月期は、前期比大幅減少が不可 避。加えて、デジタル家電の不振を 受けて家電を含む機械器具も引き続 き低迷。消費者マインドの弱含みな どを受けて、個人消費全体でみても 弱い動きが継続。

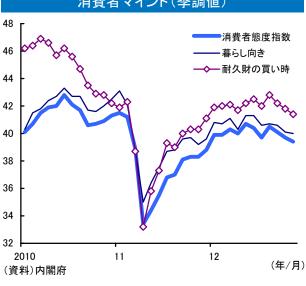
内外需全般にわたりわが国経済へ の下押し圧力が強まるなか、日本政 府の尖閣諸島国有化に伴う日中摩擦 が引き続きマイナスに作用。11月の 中国における日系自動車販売台数は トヨタやホンダで引き続き大幅減 少。もっとも、減少幅は前月から縮 小しており、経済的なマイナス影響 は、今後、半年程度の時間をかけて 収束に向かう見通し。

こうしたなか、震災からの復旧・ 復興による内需押し上げが引き続き 景気を下支え。12月のGDP年次改 定において、公共投資は復旧・復興 の遅れを反映したかたちで大幅に修 正され、2011年度が前年比マイナス に転化し、復興需要の顕在化は2012 年入り以降に先送り。もっとも、復 興需要の遅れはかえって2013年度に かけて息長く景気を下支えする見込 H.

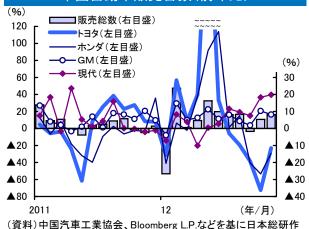
小売販売額指数(季調値)



消費者マインド(季調値)



中国自動車販売台数(前年比)



(注)販売総数は中国汽車工業協会の発表値。各メーカーのデータ はBloomberg L.P.による各社集計値。

実質公共投資



(注) 改定前は2012年7~9月期1次速報時のもの。 改定後は2012 年7~9月期2次速報時のもの。

日銀短観(12月調査):海外需要の減少で景況感が大幅悪化

袱

景気分析

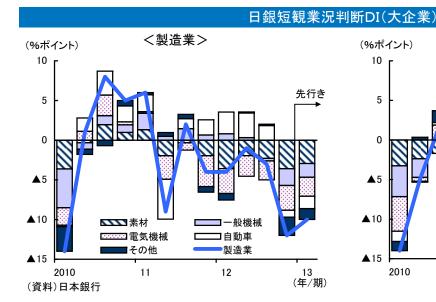
見通し

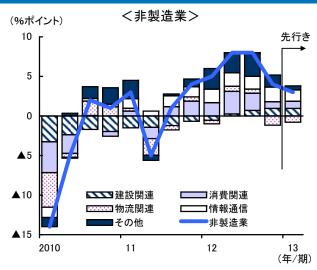
金利

金利動向

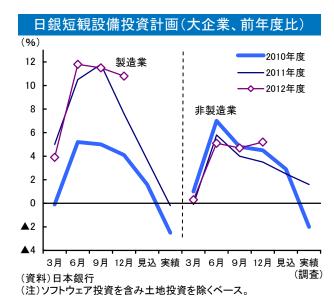
非製造業は、+4%ポイントと前回調査対比▲4%ポイント悪化。日中関係の悪化に伴う中国人観光客の減少により、宿泊・飲食サービスで「悪化」超に転じたほか、復興需要の遅れなどから建設でDIが低下。先行きは2四半期連続の悪化を見込んでおり、底堅く推移してきた内需が弱含みに転じる懸念。

企業の設備投資計画は、上期計画の下振れ分を下期に上乗せたことで前年度対比堅調な伸びに。もっとも、機械受注が伸び悩んでいることを踏まえると、今後、年度下期の計画が下方修正される可能性。





日銀短観製商品需給判断DI(海外、全規模) (%ポイント) 先行き 見通し **▲**10 ▲20 需要超過 ▲30 **▲**40 製造業 ▲50 ---うち素材業種 --◆--うち加工業種 **▲**60 80 09 10 12 2007 11 13 (年/期) (資料)日本銀行



海外景気は2013年入り後に回復する見通し

海外景気は足許で減速。海外の製 造業PMIをみると、景気後退が続 く欧州では引き続き低迷。米国や中 国では減速に歯止めがかかる兆しが みられるものの、なお判断の分かれ 目となる50付近で一進一退。

もっとも、米国では、一時的に景 気が下振れる可能性があるものの、 春以降は雇用環境の改善や住宅市場 の持ち直しを背景に、家計部門を中 心に底堅い成長となる見込み。中国 では、2012年春以降の政府による景 気てこ入れ策の効果顕在化が見込ま れ、緩やかながらも成長率が上向く 見通し。以上を踏まえると、春以 降、わが国の輸出環境は徐々に改善 に向かう見込み。

一方、欧州経済は緊縮財政や雇 用・所得環境の悪化などからマイナ ス成長が続く見通し。わが国と欧州 との貿易取引額は相対的に小さく、 直接的なマイナス影響は限定的なが ら、同地域との貿易取引規模が大き い中国の欧州向け輸出は当面減少が 続く見込み。生産財を中心とするわ が国の対中輸出は、引き続き下振れ 圧力が強い状況が続く見込み。

米欧中の製造業PMI(季調値)



(資料)Institute for Supply Management、Markit、中国物流購入連合

米国の住宅販売戸数と住宅市場指数(季調値)



(資料)U.S.CensusBureau、National Association of Realtors、 National Association of Home Builders

中国の固定資産投資と銀行貸出残高(前年比)



中国の輸出(季調値)



日中摩擦の高まりに伴う下振れ圧 力は、両国の経済依存関係が深いな

日中摩擦の拡大・長期化が当面のリスク

か、政治体制の変化をきっかけに関 係改善の機運が高まるとみられ、今 後、徐々に薄れると想定。ただし、 長期化により影響が深刻化するリス クも引き続き残存。

日中摩擦の影響を整理すると、自 動車の不買運動により輸送機械で大 きなマイナス影響。わが国の対中輸 出に占める輸送機械の割合は約1割 と比較的小さいものの、輸送機械産 業は裾野が広く、マイナス影響が多 くの産業に波及。ちなみに、中国で の輸送機械の生産減少が9ヵ月後に 収束した場合、日本からの輸出が約 ▲3,500億円押し下げられることによ り、負の生産波及効果として国内生 産額は約▲1.1兆円減少すると試算。

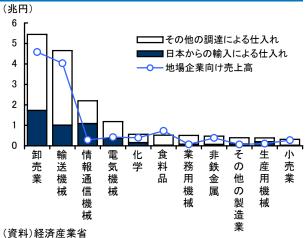
加えて、地場企業向けの売上が大 きい卸売業や、日本からの輸入によ る什入額が大きい情報通信機械や電 気機械などで現地生産が減少すれ ば、マイナス影響はさらに拡大。仮 に中国現地法人の生産減少が9ヵ月 後に収束した場合、日本からの輸出 が約▲1.6兆円押し下げられることに より、実質GDPは2013年度にかけ て▲3.0兆円(対実質GDP比▲ 0.6%) 程度押し下げられると試算。

対中輸出の内訳(2011年度) (%) 電気機器 その他 輸送機械 23.1 16.4 10.1 乗用車 その他自動車 3.9 0.6 anna 自動車部品 一般機械 同付属品 23.4 素材 5.3 27.1 その他 輸出総額

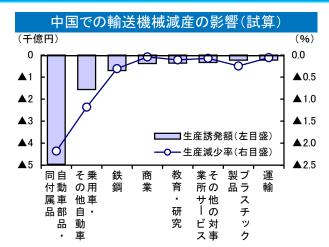
(資料)財務省、日本銀行を基に日本総研作成 (注)素材:化学製品、原料別製品

12.5兆円

中国現地法人の仕入高と地場企業向け売上高



(注)2010年度実績。鉄鋼やはん用機械などは調査企業数が少な いため未発表。



(資料)経済産業省、財務省を基に日本総研作成

(注1)中国現法の生産減少により、対中輸出が減少すると仮定。

(注2)輸送機械の生産前年比減少パスが、▲50%→▲25%→0%と 9ヵ月で収束。下振れ総額の約▲3,500億円を影響額と想定。

中国現地法人の仕入高と地場企業向け売上高

(上段:金額/兆円、下段:2011年度実績対比/%)

	実質GDP	国内企業収益
シナリオ①	▲ 2.1	▲ 1.7
(6ヵ月で収束)	(▲ 0.4)	(▲ 3.7)
シナリオ②	▲ 3.0	▲ 2.5
(9ヵ月で収束)	(▲ 0.6)	(A 5.5)
シナリオ③	▲ 3.9	▲ 3.3
(1年で収束)	(8.0 ▲)	(▲ 7.2)

(資料)財務省、内閣府などを基にマクロモデルシミュレーション

(注1)中国現法の生産減少により、対中輸出が減少すると仮定。

(注2)生産前年比減少パスを、輸送機械: ▲50%→▲25%→0%、 TV(映像機器・部品): ▲40%→▲20%→0%、その他: ▲20% →▲10%→0%と想定し、収束期間別でシミュレーション。

(注3)ベースラインからの下振れの累積。



景気対策、金融緩和とともに国内民需の自律回復力向上を

景気分析

2012年12月26日に第2次安倍政権 が発足。新政権は、足許の景気の下 支えを目的として補正予算による景 気対策を実施する方針で、その額は 10兆円規模となる可能性。仮に、公 共事業の真水が10兆円となった場 合、2013年度の実質GDPは+2.0% 押し上げられることに。もっとも、 リーマン・ショック以降、歴代の政 権は毎年景気対策を打ち出してきた ものの、実質GDPは低迷が持続。 加えて、震災からの復旧・復興の遅 れの要因となっているヒト・モノの ボトルネックが同様に影響する恐れ も。景気対策にあたっては、こうし たボトルネックの解消とともに、国 内民需の自律的な拡大につながるよ うな方策を打ち出していく必要。

加えて、新政権は大胆な金融緩和 により長引くデフレからの脱却を目 指す方針。こうしたなか、円相場は 1ドル=86円台まで下落。円安は輸 出環境の改善を通じて企業収益を押 し上げる効果。仮にドル・円が1ド ル=90円となった場合、2013年度の 企業収益は+2.6%ポイント上振れる 見込み。一方で、円安は輸入価格の 上昇を招来。震災以降、エネルギー 関連の輸入増でドル建て輸入超過額 が拡大するなか、今後、内需関連企 業を中心にマイナスに働く恐れも。

公共投資の実施に伴う効果(試算)

(%)

	実質	GDP
	2012年度	2013年度
シナリオ① (真水5兆円)	+0.0	+1.0
シナリオ② (真水10兆円)	+0.1	+2.0

(資料)内閣府などを基にマクロモデルシミュレーション

(注1)景気対策を盛り込む補正予算が2013年2月に成立すると想定。 (注2)公共投資の顕在が3月から6ヵ月後にピークを迎え1年後に収

東すると想定。

(注3)ベースラインからの上振れを表示。

これまでの景気対策と実質GDP



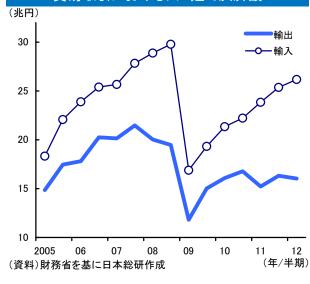
円安が企業収益に与える影響(試算)



(資料)財務省などを基にマクロモデルによりシミュレーション (注1)経常利益(除く金融・保険)ベース。

(注2)1ドル=82.0円(2013年度)をベースラインとするメインシナリ オからのかい離率。

貿易取引におけるドル建て決済額



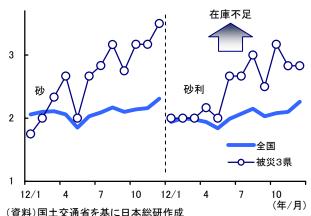
復興需要は2013年度も息長く景気を下支えする見込み

震災からの復旧・復興に向けた動 きは、2012年入り後に本格化した一 方、一部活動に遅れも。背景に、モ ノやヒトのボトルネックを指摘可

モノのボトルネックに関しては、 セメントなどの骨材として使われる 砂や砂利といった建設資材で被災3 県を中心に在庫不足が顕著。加え て、被災者向け災害公営住宅の建設 は昨年夏に比べて進んだものの、着 工まで至った事案は10%にも満たな い状況。ヒトのボトルネックに関し ては、復旧・復興関連の人材不足や 雇用のミスマッチが問題に。宮城県 では、建設関連の有効求人倍率が震 災以降高止まる一方、沿岸部を中心 に漁業関連を含む食品製造業の求人 倍率は改善が限定的。

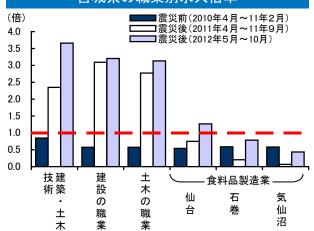
こうした現状、および、公共工事 請負金額、復興に関する予算執行率 や2013年度予算概算要求などを踏ま えると、公共投資はこの先も想定よ りも遅れて顕現化する公算。その結 果、復興需要は2013年度中比較的高 い水準での推移が続く見通しで、息 長く景気を下支えする見込み。

建設資材(砂、砂利)の在庫状況



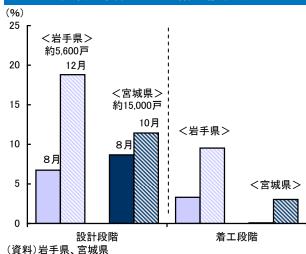
(注1)在庫状況は、1(豊富)、2(普通)、3(やや品不足)、4(品不 足)と4段階で各都道府県のモニターが回答。 (注2)一部の調査月で未集計の都道府県がある。

宮城県の職業別求人倍率



(資料)宮城県労働局 (注)建設作業、土木作業は震災前は未分類。建設・土木作業で代 用。

災害公営住宅の整備進捗状況



(注)岩手県の12月着工段階については完成分(44戸)を含む。

請負金額とGDP公共投資(年率、季調値)



(資料)内閣府、建設業信用保証(北海道、東日本、西日本)を基 に日本総研作成

(注1)震災のがれき処理は公共工事請負金額のその他に分類。 (注2)請負金額の2012年10~12月期は10、11月の実績値。

▋ 消費増税による需要急減は外需回復で吸収される見通し

景気分析

見

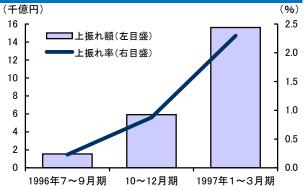
金;

金利動向

2014年度までの景気を見通すにあ たり、大きな変動要因は消費税率の 引き上げ。2013年度後半は、消費税 率の引き上げを控えた駆け込み需要 により景気が大きく押し上げられる 見込み。前回同様に耐久消費財や住 宅を中心に駆け込み需要が発生する 公算。一方、2014年度入り以降は、 消費税率の引き上げ前の駆け込みの 反動減が発生。加えて、税率引き上 げによる物価上昇が家計の購買力を 低下させ、実質ベースでの個人消費 を押し下げることに。ちなみに、 2014年4月に5%から8%へ消費税 率が引き上げられた場合、実質GD Pは▲1.4%押し下げられると試算。

も、消費税率引き上げに伴てとも、消費税率引きによい中間復には、2014年のの急見通し。2014年の所知の見通し。2014年の所対域との見通しがは、13%には、2014年の所対域とは、2014年の対域には、2014年の対域には、2014年の対域には、2014年の対域には、2014年の対域には、2014年のがは、2014年のがは、2014年のがは、2014年のがは、2014年のがは、2014年のがは、2014年のがは、2014年のがは、2014年のがは、2014年のがは、2014年のがは、2014年のが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年のが、2014年ののが、2014年のが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年のが、2014年のが、2014年のが、2014年のが、2014年のが、2014年のが、2014年のが、2014年のが、2014年のが、2014年のが、2014年のが、2014年のが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年ののが、2014年のののが、201





(資料)内閣府を基に日本総研作成

(注) $\ln($ 実質個人消費)= $\alpha+\beta*\ln($ 実質可処分所得)+ $\gamma*\ln($ 実質家 t値 6.88 5.44 6.97 計金融資産残高)+ $\delta*($ 実質個人消費 $\langle -1$ 期 $\rangle \rangle$ を推計式とし、実 10.37

績値と推計値のかい離率を表示。自由度修正済R*R=0.998。

消費税引き上げ前後の個人消費



消費税引き上げ年度の影響(5%→8%、試算)

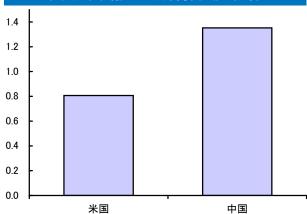
(%)

	実質GDP	
		実質個人消費
下振れ	▲ 1.4	▲ 1.9
駆け込み要因	▲ 0.6	▲ 0.8
物価上昇要因	▲ 0.8	▲ 1.1

(資料)内閣府など基に日本総研作成

(注)消費税率の引き上げがない場合のベースラインからのかい離率。

対米、対中輸出の所得弾性値(試算)



(資料)IMF、財務省、日本銀行などを基に日本総研作成

(注)推計式は、 $\ln(対相手国実質輸出)=\alpha+\beta*\ln(相手国実質GDP)+\gamma*\ln(対相手国通貨・円レート)。 為替レートは1期および2期前の平均。$

日本総研

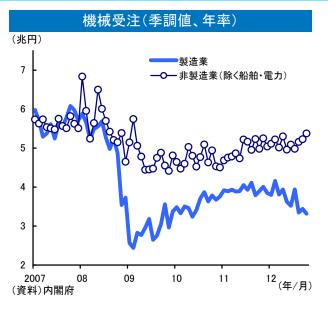
内需本来の回復力は脆弱で大幅な改善は期待薄

景気分析

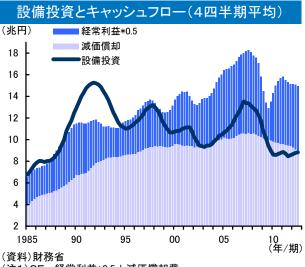
復興需要や消費税率引き上げ前の 駆け込みといった特殊要因により、 先行きわが国国内需要は押し上げら れるとみられるものの、民間部門で は機械受注が製造業を中心に減少し ているほか、雇用・所得も伸び悩む など内需本来の回復力はいまだ脆 弱。

先行きも大幅な改善は期待薄。企 業収益は今後、海外経済の持ち直し や円相場の下落などを背景に、緩や かに改善すると見込まれるものの、 ①高成長が期待される海外に対し、 国内での期待成長率が大きく低下し ていること、②高い法人税率、電力 コストなど、国内での事業環境に改 善の動きがみられないこと、などを 背景に、企業は国内での投資や雇 用・所得環境の改善に積極的には動 かない可能性大。このため、設備投 資は引き続きキャッシュフローを大 幅に下回る水準にとどまる見通し。 加えて、企業から家計への所得分配 が低水準にとどまるとみられるな か、消費の元手となる雇用者報酬は 引き続き伸び悩む見込み。

こうした状況下、大幅な需要不足に あるGDPギャップの解消にはなお 時間を要する公算が大きく、明確な 物価上昇は見込めず。







(注1)CF=経常利益*0.5+減価償却費。

(注2)金融業、保険業を除く。



外需回復と復興需要が下支えも国内民需の基調は依然脆弱

見通し

わが国景気は足許で大幅に悪化。 2012年10~12月期はエコカー補助金 終了による自動車販売の反動減や日 中摩擦の影響により、引き続きマイ ナス成長となる見込み。

もっとも、2013年入り後は自動車 販売の反動減が一巡するほか、海外 景気も回復に向かうとみられること からプラス成長に復帰。2012年4月 以降から始まったとみられる景気後 退局面は、比較的短期で終了する見 通し。2013年度後半は消費税率の引 き上げを控えて耐久財消費や住宅投 資が増加し、景気を押し上げる見込 み。ちなみに、安倍政権は経済対策 を打ち出す方針で、官公需が成長率 をさらに押し上げる公算。

一方、2014年度については消費税 率引き上げに伴う反動減が不可避 で、4~6月期は大幅マイナス成長 に。もっとも、内需の回復力は脆弱 にとどまるものの、海外景気の堅調 な成長が見込まれるなか、輸出の増 勢が続き、7~9月期以降は再びプ ラス成長に復帰する見通し。

消費者物価は、電力料金の引き上 げが指数を押し上げるものの、家 具・家電などでデフレ圧力が根強く 残る見通し。

わが国主要経済指標の予測値(2013年1月4日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	201	2年		201	3年			201	4年		2015年	2012年度	2013年度	2014年度
	7~9 10~12		1~3	1~3 4~6 7~9 10		10~12	1~3 4~6 7~9		10~12	1~3	2012年度	2013年度	2014年度	
	(実績)	(予測)										(予測)		
実質GDP	▲ 3.5	▲ 0.7	1.2	1.5	1.7	3.3	4.3	▲ 6.3	1.8	1.8	1.9	1.0	1.3	0.3
個人消費	▲ 1.7	▲ 0.8	0.6	0.7	0.9	3.8	6.8	▲ 12.5	1.9	1.1	0.9	1.2	1.1	▲ 1.1
住宅投資	3.7	4.1	1.8	7.6	15.3	11.5	▲ 8.3	▲ 20.3	▲ 13.2	▲ 4.8	▲ 1.5	3.0	6.7	▲ 8.2
設備投資	▲ 11.3	0.2	3.0	3.1	3.3	3.4	4.3	3.4	3.6	4.3	4.1	0.1	2.0	3.7
在庫投資 (寄与度)	(1.0)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.1)	(0.0)
政府消費	2.4	0.8	0.5	0.3	0.2	0.5	0.7	0.6	0.5	0.6	0.5	2.4	0.5	0.5
公共投資	6.1	1.9	5.8	1.0	0.4	▲ 1.2	▲ 6.2	▲ 7.6	▲ 4.0	▲ 3.0	▲ 1.1	12.4	1.2	▲ 4.4
純輸出 (寄与度)	(▲ 2.8)	(▲ 0.6)	(▲ 0.1)	(0.3)	(0.2)	(0.1)	(▲ 0.1)	(1.8)	(0.6)	(0.6)	(0.6)	(▲ 0.9)	(▲ 0.2)	(0.7)
輸出	▲ 18.9	▲ 3.9	0.9	4.3	4.5	4.8	4.8	5.2	5.1	5.2	5.4	▲ 1.0	1.1	5.0
輸入	▲ 1.8	0.2	1.6	2.1	2.9	3.8	5.1	▲ 6.0	1.2	1.1	1.4	4.7	2.1	0.5

													(前	有比、%)
名目GDP	▲ 0.3	▲ 0.3	1.5	▲ 0.7	0.7	1.8	2.8	2.2	2.2	1.6	1.3	0.2	1.1	1.8
GDPデフレーター	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.1	0.1	1.5	1.5	1.4	1.5	▲ 0.8	▲ 0.2	1.5
消費者物価 (除〈生鮮)	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	0.2	0.2	2.7	2.7	2.6	2.6	▲ 0.2	0.1	2.7
鉱工業生産	▲ 4.6	▲ 5.5	▲ 3.7	1 .0	4.3	8.3	6.6	3.1	2.4	2.0	1.0	▲ 2.3	4.6	2.1
完全失業率 (%)	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	4.2	4.0	3.9
経常収支 (兆円)	1.58	0.35	0.37	0.26	0.52	0.46	0.57	1.06	1.66	1.90	2.43	3.43	1.82	7.05
対名目GDP比 (%)	1.4	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	0.5	0.9	1.4	1.5	2.0	0.7	0.3	1.4
円ドル相場 (円/ドル)	79	81	85	84	84	85	86	87	89	91	93	81	85	90

115

115

115

106 (資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に 日本総研作成

原油輸入価格 (ドル/バレル)

- (注1)2014年4月に消費税率の引き上げ(5%→8%)が実 施されると想定。
- (注2)新政権が策定する方針の景気対策(2012年度補正 予算)の影響は、具体的内容が不明のため反映せず。

海外経済の前提

115

115

115

115

(予測) 米国 2.3 1.9 **▲** 0.5 **▲** 0.1 ユーロ圏

113 過去の実質GDP予測値

115

				前年比、%)
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
	(実績)	(予測)		
10月号	▲ 0.0	1.7	1.4	
11月号	▲ 0.0	1.7	1.4	
12月号	▲ 0.0	0.7	1.1	0.3

景気分

見通し

金利動向

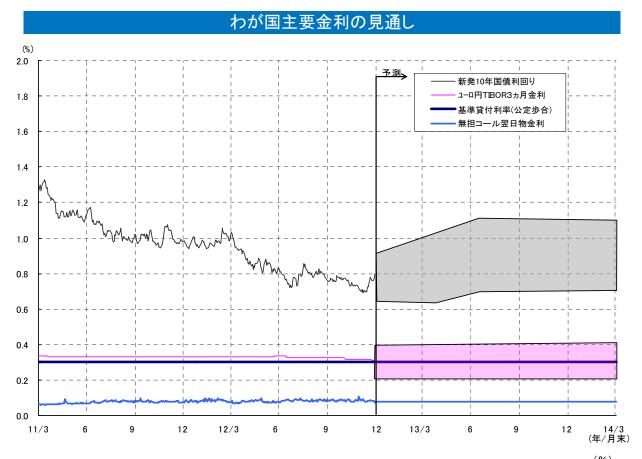
■長期金利は当面は低水準で推移が持続。

日銀は、12月19、20日の定例会合で、資産買入基金の10兆円の増額と「中長期的な物価安定の目途」の見直しを決定。

今後を展望すると、日銀は、デフレ脱却に向けた姿勢をより明確に示すため、2013年1月の決定会合で、物価目標の導入に踏み切る可能性大。その後も、インフレ動向を睨みながら、状況に応じて基金増額などの緩和策を継続する見通し。

長期金利は、日銀に対する金融緩和要請が一段と強まるとの思惑から、12月上旬にかけて0.7%を割り込む水準まで低下。その後は、わが国の景気回復への期待や新政権での国債発行増加の懸念などから、0.8%まで上昇。

今後を展望すると、日銀による一 段の金融緩和が金利下押しに作用す る一方、国債発行の増加見通しが金 利押し上げ要因となり、当面は0.8% 前後での推移が続く見通し。2013年 春先以降、内外で景気の回復が確認 されてくるにつれて徐々に水準を切 り上げていく見込み。



									(%)
		201	2年			2014年			
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
無担コールO/N誘導目標	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
基準貸付利率(公定歩合)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
ューロ円TIBOR3ヵ月物金利	0.30	0.38	0.33	0.32	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
円スワップ5年物金利	0.48	0.43	0.37	0.30	0.30	0.35	0.40	0.45	0.45
新発10年国債利回り	1.00	0.88	0.79	0.75	0.75	0.80	0.85	0.90	0.95

(注)無担コール・基準貸付利率は末値。 その他は期中平均値。

→ 予測

量的緩和と賃貸市況の改善を背景に、REIT相場は上昇

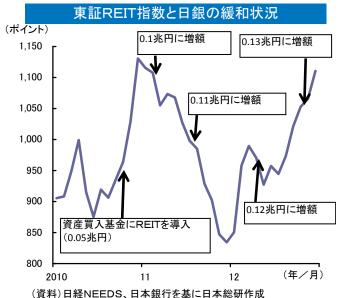
金利動向

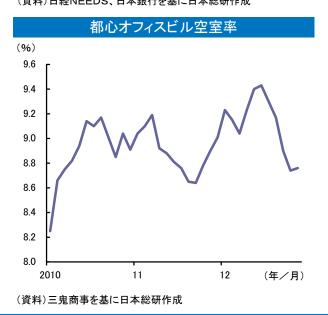
2012年8月以降、東証REIT指 数は上昇ペースが加速。足元では震 災前の水準まで回復。この背景とし て以下の2点を指摘可能。

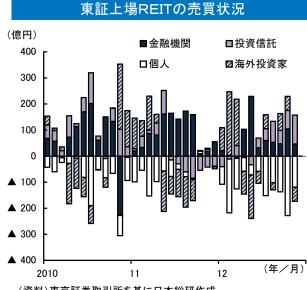
第1に、日銀によるREIT買 入。日銀は、2010年10月に、資産買 入基金でREITの購入を開始。現 在の買入枠は0.13兆円と時価総額の 3%の規模まで拡大。日銀購入の拡 大を主因に、投資信託のREIT売 買は6ヵ月連続で買い越した。

第2に、不動産賃貸市況の改善。 オフィスビル空室率は、夏以降低下 傾向が持続。こうしたオフィスビル 需給の改善を背景に、高利回りの運 用先を求めている金融機関の投資資 金が流入。実際、金融機関は、8ヵ 月連続でREITを買い越し。

先行きを展望すると、日銀の買入 残高が目標額の85%に達するなか、 日銀の買入による押し上げ効果は 徐々に減衰していく見通しながら、 新規供給減少などによる空室状況の 改善により、REIT相場は底堅く 推移する見込み。







(資料)東京証券取引所を基に日本総研作成



(株)日本総合研究所 日本経済展望 2013年1月



内外市場データ(月中平均)

	短期金利	1-0円(TIBOR)		・円スワッ	, - 3	国債			ムレート	為替		±± =	は相場	米国市場				欧州市場	
	無担0/N	3ヵ月	6か月	2年	5年	10年物	2年物	10年物	短期	国債	¥/\$	¥ / Eur	日経平均	TOPIX	FF 0/N		10年国債	NYダウ	コーロ3ヵ月	10年国債
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(NY終値)	(NY終値)	株価	(ポイント)	(%)	(%)	(%)	工業株	(%)	(%)
	(,,,,	(,,,,	(,,,	(70)	(,,,,	(,,,,	(,,,,	(,,,,	(,,,,	(,)	(11.11/12)	(III)	(円)	(111217	(,,,,	(70)	(,,,,	(ドル)	(,,,,	(,,,,
09/4	0. 10	0. 62	0. 72	0. 74	0. 99	1. 38	0. 42	1. 44	1. 48	2. 28	98. 93	130. 65	8767. 96	832. 63	0. 15	1. 11	2. 90	7992. 12	1. 42	3. 19
09/5	0. 10	0. 58	0. 70	0. 68	0. 93	1. 36	0. 38	1. 44	1. 48	2. 11	96. 51	131. 91	9304. 43	882. 40	0. 18	0. 82	3. 30	8398. 37	1. 28	3. 42
09/6	0. 10	0. 56	0. 68	0. 68	0. 93	1. 41	0. 36	1. 48	1. 48	2. 10	96. 67	135. 47	9810. 31	921. 57	0. 21	0. 62	3. 70	8593.00	1. 23	3. 55
09/7	0. 10	0. 56	0. 67	0. 62	0. 86	1. 37	0. 27	1. 35	1. 48	1. 96	94. 45	133. 05	9691. 12	903. 66	0. 16	0. 52	3. 53	8679.75	0. 98	3. 36
09/8	0. 11	0. 55	0. 66	0.60	0.88	1.46	0. 27	1. 38	1. 48	1. 94		135. 40	10430. 35	961. 13	0. 16	0. 42	3. 57	9375.06	0.86	3. 33
09/9	0. 11	0. 53	0. 65	0. 56	0.83	1. 42	0. 23	1. 33	1. 48	1. 86	91. 39	133. 10	10302.87	937. 02	0. 15	0.30	3. 39	9634. 97	0.77	3. 29
09/10 09/11	0. 10 0. 10	0. 53 0. 52	0. 64 0. 63	0. 58 0. 56	0. 86 0. 83	1. 46 1. 47	0. 26 0. 26	1. 33 1. 36	1. 48 1. 48	1. 73 1. 81	90. 31 89. 11	133. 83 133. 01	10066. 24 9640. 99	895. 10 855. 14	0. 12 0. 12	0. 28 0. 27	3. 36 3. 38	9857. 34 10227. 55	0. 74 0. 72	3. 23 3. 28
09/11	0. 10 0. 10	0. 52	0. 63 0. 59	0. 56	0. 83	1.47	0. 26 0. 17	1. 30	1. 48	1. 81	90. 05	133. 01	10169. 01	892. 90	0. 12	0. 27	3. 38		0. 72	3. 28
10/1	0. 10	0. 47	0. 57	0. 48	0. 71	1. 43	0. 17	1. 34	1. 48	1. 72	91. 22	130. 20	10661.62	936. 12	0. 12	0. 25		10433. 44	0. 68	3. 29
10/1	0. 10	0. 43	0.57	0. 48	0. 72	1. 43	0. 17	1. 34	1. 48	1. 65		123. 35	10175. 13	896. 61	0. 11	0. 25		10471. 24	0. 66	3. 19
10/2	0. 10	0. 44	0. 55	0.47	0. 71	1.40	0. 16	1. 35	1. 48	1. 62	90. 72	123. 33	10671. 49	936. 98	0. 13	0. 23		10214. 51	0. 65	3. 13
10/4	0. 10	0. 41	0. 52	0. 47	0. 72	1. 40	0. 17	1. 35	1. 48	1. 64	93. 49	125. 54	11139. 77	987. 60	0. 20	0. 31		11052. 15	0. 65	3. 09
10/5	0.10	0. 39	0. 50	0. 48	0. 69	1. 34	0. 17	1. 28	1. 48	1. 61	91. 88	115. 21	10103. 98	907. 38	0. 20	0. 46		10500. 19	0. 69	2. 80
10/6	0. 10	0. 39	0. 50	0. 47	0. 65	1. 27	0. 16	1. 21	1. 48	1. 50	90. 81	110. 89		873. 79	0. 18	0. 54		10159. 27	0. 73	2. 63
10/7	0. 10	0. 37	0. 49	0. 45	0. 59	1. 15	0. 15	1. 10	1. 48	1. 45	87. 56	112. 09	9456. 84	846. 85	0. 18	0. 51	2. 98		0. 85	2. 65
10/8	0. 10	0. 37	0. 49	0. 42	0. 54	1.04	0. 14	0. 99	1. 48	1. 41	85. 37	110. 12	9268. 23	834. 51	0. 19	0. 36	2. 68	10350.40	0. 90	2. 37
10/9	0. 10	0.36	0. 47	0. 41	0. 55	1. 13	0. 14	1. 07	1. 48	1.43	84. 38	110.47	9346. 72	836. 55	0. 19	0. 29	2. 64	10598.07	0.88	2. 34
10/10	0. 10	0. 34	0. 45	0. 38	0. 47	0. 97	0. 14	0. 90	1. 48	1. 34	81. 80	113. 69	9455. 09	827. 07	0. 19	0. 29	2. 51	11044. 49	1.00	2. 37
10/11	0. 10	0. 34	0. 45	0. 40	0. 55	1. 12	0. 16	1. 05	1. 48	1. 37	82. 58	112. 61	9797. 18	849. 90	0. 19	0. 29		11198.31	1.04	2. 56
10/12	0. 10	0. 34	0. 45	0. 41	0. 64	1. 26	0. 21	1. 19	1. 48	1. 53	83. 22	110. 06	10254. 46	894. 54	0. 18	0. 30		11465. 26	1. 02	2. 96
11/1	0. 10	0. 34	0. 45	0. 41	0. 64	1. 27	0. 19	1. 21	1. 48	1. 53	82. 62	110. 49	10449. 53	924. 36	0. 17	0. 30		11802. 37	1. 02	3. 05
11/2	0. 10	0. 34	0. 45	0. 43	0. 72	1. 34	0. 23	1. 29	1. 48	1. 60	82. 57	112. 80	10622. 27	948. 61	0. 16	0. 31		12190.00	1. 09	3. 23
11/3	0. 10	0. 34	0. 45	0. 40	0. 64	1. 29	0. 22	1. 25	1. 48	1. 62	81. 64	114. 45	9852. 45	883. 59	0. 14	0. 31		12081.48	1. 18	3. 25
11/4 11/5	0. 09 0. 09	0. 33	0. 44 0. 44	0.39	0. 64 0. 56	1. 31 1. 20	0. 21 0. 19	1. 27 1. 15	1. 48 1. 48	1. 68 1. 57	83. 17	120. 35 116. 24	9644. 62 9650. 78	843. 89 837. 02	0. 10 0. 09	0. 28 0. 26		12434. 88 12579. 99	1. 32 1. 43	3. 35 3. 11
11/6	0.09	0. 33 0. 33	0. 44 0. 44	0. 36 0. 37	0. 56	1. 20	0. 19	1. 13	1. 48	1. 57	81. 15 80. 47	115. 89	9541. 53	822. 06	0. 09	0. 26		12097. 31	1. 43	2. 97
11/7	0.09	0. 33	0. 44	0.37	0. 54	1. 13	0.17	1. 13	1. 48	1. 52	79. 27	113. 39	9996. 68	861. 29	0. 09	0. 25		12512. 33	1. 49	2. 79
11/8	0.09	0. 33	0. 44	0.33	0. 46	1. 02	0. 10	1. 03	1. 48	1. 40	77. 05	110. 46	9072. 94	778. 73	0. 07	0. 29		11326. 62	1. 55	2. 75
11/9	0.09	0. 33	0. 43	0. 34	0. 45	0. 99	0. 14	1. 01	1. 48	1. 39	76. 86	105. 70	8695. 42	753. 81	0. 08	0. 35		11175. 45	1. 54	1. 87
11/10	0. 10	0. 33	0. 43	0. 35	0. 47	1. 01	0. 15	1. 01	1. 48	1. 40	76. 68	105. 26		750. 34	0. 07	0. 41		11515. 93	1. 58	2. 04
11/11	0. 09	0. 33	0. 43	0. 37	0. 47	0. 99	0. 13	0. 99	1. 48	1. 40	77. 54	105. 09	8506. 11	730. 12	0. 08	0. 48	2. 00	11804. 33	1. 49	1. 95
11/12	0.09	0. 33	0. 43	0. 38	0. 49	1.00	0. 14	1. 01	1. 48	1.40	77. 84	102. 35	8505. 99	732. 53	0. 07	0. 56	1. 97	12075.68	1. 43	1. 99
12/1	0.09	0. 33	0. 43	0. 37	0. 47	0. 98	0. 13	0. 98	1. 48	1. 40	76. 93	99. 33	8616. 71	744. 40	0. 08	0. 57		12550.89	1. 22	1.86
12/2	0. 10	0. 33	0.44	0. 35	0.46	0. 98	0. 12	0. 97	1. 48	1.40	78. 60	104.06	9242. 33	799. 32	0. 10	0.50	1.96	12889.05	1.05	1. 90
12/3	0.09	0. 33	0. 44	0. 35	0.49	1.04	0. 12	1. 01	1. 48	1. 36	82. 55	109.07	9962. 35	850. 37	0. 13	0. 47	2. 16	13079.47	0.86	1.88
12/4	0. 09	0. 33	0. 44	0. 35	0. 45	0. 98	0. 11	0. 95	1. 48	1. 35	81. 27	106. 99	9627. 42	817. 43	0. 14	0. 47	2. 03	13030.75	0. 74	1. 73
12/5	0. 10	0. 33	0. 44	0. 35	0. 43	0. 89	0. 11	0. 86	1. 48	1. 31	79. 68	101. 90	8842. 54	745. 33	0. 16	0. 47		12721.08	0. 69	1.46
12/6	0. 09	0. 33	0. 44	0. 34	0. 40	0. 84	0. 10	0. 84	1. 48	1. 30	79. 35	99. 57	8638. 08	733. 19	0. 16	0. 47		12544. 90	0. 66	1. 43
12/7	0. 10	0. 33	0. 43	0. 30	0. 36	0. 77	0. 10	0. 78	1. 48	1. 26	78. 98	97. 09	8760. 68	746. 00	0. 16	0. 45		12814. 10	0. 50	1. 31
12/8	0. 10	0. 33	0. 43	0.30	0. 37	0. 81	0. 10	0. 80	1. 48	1. 25	78. 68	97. 59	8949. 88	748. 73	0. 13	0. 43		13134. 90	0. 33	1. 42
12/9	0.09	0. 33	0. 43	0. 29	0. 36	0.80	0. 10	0.80	1. 48	1. 25	78. 16	100.62	8948. 59	742. 65	0.14	0. 39		13418. 50	0. 25	1.55
12/10	0. 10	0. 33	0. 43	0. 26	0. 33	0. 78	0. 10	0. 77	1. 48	1. 25	79. 01	102. 47	8827. 39	736. 24	0. 16	0. 33		13380.65	0. 21	1. 52
12/11 12/12	0. 10 0. 10	0. 32 0. 32	0. 42 0. 41	0. 26 0. 21	0. 31 0. 28	0. 75 0. 77	0. 10 0. 10	0. 74 0. 74	1. 48 1. 48	1. 21 1. 20	81. 05 83. 91	104. 07 110. 16	9059. 86 9814. 38	753. 21 811. 87	0. 16 0. 16	0. 31 0. 31		12896. 44 13144. 18	0. 19 0. 19	1. 39 1. 35
14/14	U. 1U	ს. ა2	0.41	U. Z I	U. Z8	U. 11	0. 10	U. 14	1.48	1. 20	თა. 91	110.10	3014. JO	011.0/	U. 10	U. SI	1. / 1	10144. IÕ	0. 19	1. აე